



2022年6月1日

報道関係各位

大和物流株式会社
代表取締役社長 木下健治
大阪市西区阿波座一丁目5番16号

■愛知県内に12拠点目を開設し、総延床面積17.7万㎡に 「一宮物流センター」を稼働開始しました

大和ハウスグループの大和物流株式会社（本社：大阪市西区、社長：木下 健治）は、2022年5月31日、愛知県一宮市において物流施設「一宮物流センター」を竣工し、6月1日に稼働を開始しましたので、お知らせします。



【一宮物流センター】

1. 開発の背景

近年、中部エリアでは、高速道路網の整備が進んだことで、物流施設の開発が相次いでいます。

当社においては、愛知県を中心に中部エリアの物流基盤強化を図っており、これまで県内で11カ所の物流施設^{※1}を運営してきましたが、今後のさらなる物流需要の増加に対応していくため、物流施設「一宮物流センター」（以下「本センター」）を開発しました^{※2}。本センター開設により、愛知県内の12拠点合計で176,582.31㎡（53,416.15坪）の総延床面積となります。

本センターは、交通利便性と充実した施設仕様を活かし、中部エリアに拠点を置くメーカーや流通業者向けの3PL^{※3}拠点として当社が運営してまいります。

※1. 賃貸用物流施設を含む。2022年3月末現在

※2. 本センターの開設に伴い、旧「一宮物流センター」は、名称を「一宮三ツ井物流センター」に変更しました。

※3. 荷主企業に代わる第三者として、物流を設計・提案し、包括的に受託する事業形態

2. 本センターの特長

(1) 名古屋への市内配送と広域輸送を両立する物流適地

本センターは、名古屋高速 16 号一宮線「西春インターチェンジ」から約 1.5km、名古屋第二環状自動車道「清洲東インターチェンジ」から約 4km に位置し、名古屋市内へも 30 分圏内と、配送拠点として最適な立地です。

また、「一宮インターチェンジ」から約 2.4 km と名神高速道路へのアクセスにも優れ、中部エリアのみならず、東西広域への交通利便性も高い物流適地にあります。



【地図】

(2) 効率的な入出庫を実現する施設仕様

本センターは、低床式ホームで、建材や機械などの重量物の取扱いにも対応可能な床荷重 2.0t/m²の仕様を採用しています。

3 層の倉庫内では、トラックバース※4 直結の貨物用エレベーターと垂直搬送機を活用し、効率的な荷役業務を行っています。

※4 荷物の積卸しをするためにトラックを接車するスペース



【トラックバース】



【倉庫内観 (1F)】

3. 施設概要

名 称	大和物流株式会社「一宮物流センター」
所 在 地	愛知県一宮市丹陽町五日市場字天上7番地
敷地面積	11,272.62 m ² (約 3,409.97 坪)
延床面積	17,437.13 m ² (約 5,274.73 坪)
構造・規模	鉄骨造 地上3階建て 低床式
床 荷 重	各階 2.0t/m ²
搬 送 設 備	貨物用エレベーター2基 (3.6t : 1基、4.5t : 1基) 垂直搬送機2基 (1.5t)
環 境 対 応	全館 LED 照明導入 ソーラーパネル敷設 ※2023年8月頃発電開始予定 (年間予定発電量 : 約 69 万 kWh)
ア ク セ ス	名古屋高速 16 号一宮線「西春インターチェンジ」から約 1.5km 名神高速道路「一宮インターチェンジ」から約 2.4km 名古屋第二環状自動車道「清洲東インターチェンジ」から約 4.0km
最 寄 り 駅	JR 東海道本線「稲沢駅」から約 2.7 km
着 工	2021年6月1日
竣 工	2022年5月31日
稼 働	2022年6月1日
施 主	大和物流株式会社
設 計 ・ 施 工	大和ハウス工業株式会社
運 営	大和物流株式会社
U R L	https://www.daiwabutsuryu.co.jp/center/ichinomiya-tanyocho

●大和物流について

当社は 1959 年に大和ハウス工業株式会社の物流子会社として設立し、今年で創立 63 年を迎えます。建築・建材物流をコア事業とした総合物流業のほか、お客さまのニーズに合わせた物流施設開発を全国で進め、現在、自社で管理・運営する物流施設は、98 ヲ所・総延床面積約 32.2 万坪 (2022 年 3 月末時点) に上ります。また、ベトナムの現地法人を軸にグローバルへの展開も積極的に進めています。

以 上

お問い合わせ先

大和物流株式会社 経営企画部

TEL : 06-4968-6372 E-MAIL : pr.ml@daiwabutsuryu.co.jp